

各位
プレスリリース

2022 年 1 月 25 日
SIAF ラボ

SIAF ラボによる新プロジェクト「S. I. D. E (サイド)」始動 新メンバーを迎えて、北海道大学 CoSTEP と R&D(研究開発)プロジェクトを企画運営します。



Island Eye Island Ear (1974)

写真コラージュ：中谷芙二子

クルーヴァー／マーティン・アーカイブ | 画像提供：デーヴィッド・チュードア・トラスト

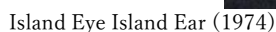
2015 年から札幌国際芸術祭(略称：SIAF)のかたわらで実験的活動を続ける SIAF ラボは、札幌・北海道をフィールドにしたオープンな R&D(研究開発)プロジェクト「S.I.D.E」を始動します。タイトルである「S.I.D.E」は、プロジェクトが内包するさまざまな可能性に応じて、いくつかの単語の頭文字を組み合わせるフレキシブルに使うことを想定し、決まった単語を固定していません。*1

それは、ある特定の成果形態を設定することなく、プロジェクトが進むプロセスにおいて付随して発生する成果や広がりを見守る、オープンエンドなプラットフォームという、このプロジェクトが目指す姿を表したものです。そして、プロジェクト・タイトルを構成する単語の組み合わせに表される多様性に加え、ある側面や脇などを意味する「side」という言葉に本プロジェクトの長期的ビジョンが集約されています。

まずは、2022 年から 2024 年までの 3 年間で第 1 期とし、2023 年度冬季に開催予定の札幌国際芸術祭と並走するサイド・プロジェクトとしての方向性についても、時間をかけて模索します。

*1 Sapporo Integrated Development Environment／Scientific Intersectional Deconstructive Experiments
／Sapporo Interactive Decentral Education など

S.I.D.E 第 1 期 (2022-2024)



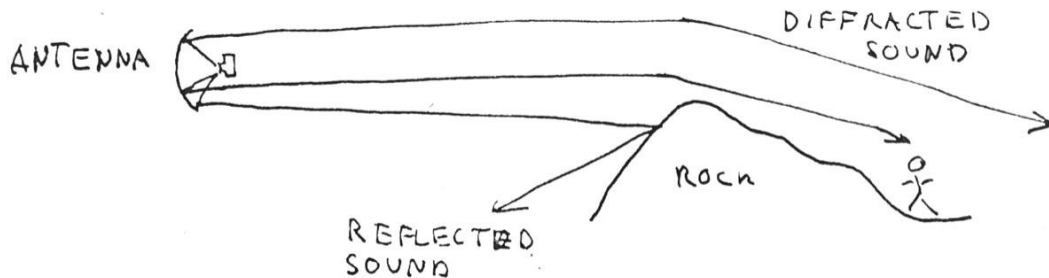
クルーヴァー／マーティン・アーカイブ | 画像提供：デーヴィッド・チュードア・トラスト

並外れたスケールに加えて、自然と技術に対する特異な思想ゆえに未完に留まったこの壮大なプロジェクトを出発点にして、その今日的な実現可能性を探ると同時に、島としての北海道のリサーチや研究者らとの対話を重ねていきます。

E.A.T. (Experiments in Art and Technology)は1960年代半ばに設立され、ベル研究所の技術者であったビリー・クルーヴァーを中心に、アーティストとエンジニアが実験的な共同制作を展開した集団です。デーヴィッド・チュードアと中谷芙二子もE.A.T.のメンバーとして、さまざまなプロジェクトに参加しました。日本におけるE.A.T.の代表的な活動として大阪万博（1970年）のペプシ館があります。

S.I.D.E 第1期 (2022-2024) キーワード

Side Effects



Island Eye Island Ear (1974)

クルーヴァー／マーティン・アーカイブ | 画像提供：デーヴィッド・チュードア・トラスト

ある目的を果たそうとするプロセスにおいて、そのかたわらで付随的に発生したものを副作用 (side effect) や副産物 (by product) などと呼びます。「S.I.D.E」では、未完の作品《Island Eye Island Ear》をモチーフにして、さまざまな副次的効果も取り込むことによって重層的な広がりを持たせ、目的自体も可変的なプロジェクトを目指します。

キックオフ・トークイベント：「都市と自然と R&D」

SCARTS×SIAF ラボ 冬の展覧会 2022「都市と自然とデータとかたち」において、S.I.D.E プロジェクトメンバーによるトークイベントを開催いたします。

<https://siaflab.jp/wex2022/>

日時：2022 年 2 月 13 日 (日) 14:00～17:30

(事前予約不要、参加無料)

会場: SCARTS モール A・B

登壇：中井悠、朴炫貞、久保田晃弘、小町谷圭

ファシリテーター：明貫紘子

【S.I.D.E 第1期プロジェクトメンバー】

・アーティスティック・リサーチャー：

中井悠（アーティスト／東京大学大学院総合文化研究科准教授）

・キュレトリアル・リサーチャー：

明貫紘子（キュレーター／映像ワークショップ合同会社代表）

・企画／運営：

SIAF ラボ

<https://siaflab.jp/>

メンバー：

小町谷圭（メディア・アーティスト／札幌大谷大学芸術学部准教授）

石田勝也（札幌市立大学デザイン学部人間空間デザインコース講師）

船戸大輔（エンジニア／株式会社アートフル代表取締役）

平川紀道（アーティスト）

スーパーバイザー：

久保田晃弘（アーティスト／多摩美術大学教授）

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門

CoSTEP (Communication in Science & Technology Education & Research Program; コーステップ)

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>

メンバー：

奥本素子（准教授）

朴炫貞（特任講師）

* キックオフ時のプロジェクトメンバーで、今後、増える可能性があります。

【お問合せ】

札幌国際芸術祭実行委員会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル 10階

TEL 011-211-2314

FAX 011-218-5154

MAIL press@siaf.jp